



ガク☆チキ探訪

～狛江第一中学校～ 市内で最も歴史ある校舎

学校は地域の中にあり、地域は学校と密接な関係性を築いています。

学校を訪ねれば、地域とのつながりを垣間見ることができます。

そんな学校から見えてくる地域とのつながりを紹介する

ガク☆チキ探訪2回目の今回は、狛江第一中学校を紹介します。



ひぐち とよたか 樋口 豊隆 校長(左) あらた つとむ 荒田 勉 副校長(右)

狛江第一中学校(通称一中)は、昭和22年に狛江で初めてとなる中学校として開校されました。開校当時は、戦後の資材不足と財政難の中、新しい校舎を作ることができず、四谷区教員農園の付属建物を借りてのスタートになりました。現在の地に校舎が建てられ、移転したのは、翌年の昭和23年。昭和36年に建てられた北側校舎(通称2号館)は、大規模改修等を経てはいるものの、建設当時の姿を残す、市内で最も歴史のある校舎です。



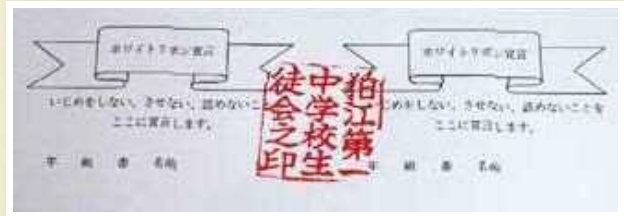
昭和43年の北側校舎



ホワイトリボン運動

～一中独自のいじめ撲滅に向けた活動～

生徒会を中心にいじめ防止を呼び掛け、賛同者を集めることでいじめ撲滅をめざす運動。賛同者は、「いじめをしない、させない、認めないことをここに宣言します」という宣言書2か所に署名。その用紙を中央で折り、左半分を生徒会に提出し、右半分を携帯するとともに、交付されるホワイトリボンを着服やかばん等につけることで意思表示する。平成22年度に開始し、これまで多くの賛同者を集めてきた。



ホワイトリボン運動の広がり

一中の新たな伝統は、次世代へと脈々と受け継がれ、そして海を越えて世界へと広がっています。

小学校へ



『出張!!ホワイトリボン運動!』

平成31年1月24、25日に白江第一小学校にてホワイトリボン運動が行われました。この日、出張した生徒会役員の4人中、3人は一小出身。もうすぐ一中生になる6年生たちは、真剣に先輩たちの説明を聞いて、積極的に運動に参加しました。



地域へ



『先輩から受け継いだバトン』

白江市教育委員会の有馬教育長と教育委員がホワイトリボン運動に参加しました。鈴木委員から「息子が一中生のときに始まったこのホワイトリボン運動が、今も後輩の皆さんに受け継がれていることが嬉しい。『いじめをなくしたい』という気持ちを持ち続けることが一番大切」というお話がありました。



そして世界へ!



『Bienvenidos!』

訪日したドミニカ共和国のバルカセル青年大臣 (Mrs. Robiamny Nadesha BALCÁ CER) に、ホワイトリボン運動を紹介しました。ドミニカ共和国の青年省はいじめ問題を重点課題のひとつとしており、一中独自のいじめ撲滅活動に熱心に耳を傾けていました。



ドミニカ共和国って??

首都: サントドミンゴ
人口: 約1,076万人
(2017年: 世銀)
公用語: スペイン語

